

ひごんアサリ調査隊

～熊本のアサリを守ろう～

熊本の小学5・6年生20人が「ひごんアサリ調査隊」として、アサリが減少する熊本の海の課題を調査しました。隊員たちは熊本の干潟でアサリの保護をする活動の見学をしたり、大学でアサリの生態調査実験をしたりと様々な角度からアサリが減少した原因を学習。これからもアサリが過ごす熊本の海を守っていくためにどのようなことができるのかを考え、メニュー開発を行いました!

海のミライを守るために、私たちにできること



干潟の砂質



熊本の干潟の面積は日本一!(約12,000ヘクタールあり、全国の23%)熊本の有明海・八代海は、ほとんどがアサリが好む砂の干潟です! 人間が川の砂を採りすぎて、新しい砂が干潟に流れ込まなくなると砂の質が変わりアサリが暮らせなくなります。川と海はつながっているということを意識して、どちらも大切に守っていきましょう。

アサリが減少している原因

淡水化



豪雨などの影響で干潟の淡水状態が続くとアサリは生きていけません。豪雨が発生する理由の1つは地球温暖化といわれています。私たちの生活が海の生き物を苦しめているかもしれない、ということを想像しながら節電など温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいきましょう。

天敵



エイやカモ、ツメガイがアサリを捕食しています。特に今まで飛来していなかったカモが来るようになり、アサリを大量に殻ごと食べることが深刻な課題です。地球温暖化の影響で熊本の海に飛来するようになったのかもしれない。漁業者は干潟に網を張るなどして、アサリが天敵から食べられないように保護しています。

